

【第1回】タスクフォース活動報告

タスクフォース名：医療・介護人材タスクフォース

会議開催日時：令和3年1月22日（金） 15時30分から17時00分

会場：本庁舎 南分館 202 会議室

参加者：外山副市長、病院部局（看護師・事務などの職員2人）、市長部局（5人）、事務局（3人）

会議の内容

- 今までの経緯について（医療対策推進本部、タスクフォースなど）
- 医療・看護人材について（市の助成事業、特定看護師など）
- 介護人材について（介護人材実態調査、市の支援事業など）

各委員からのご意見

- 医療を充実させても受け皿がない。介護サービスを受けられる、受け入れ先を増やすべきである。
- 看護師就学資金貸与制度の予算があれば、その予算で看護師を連れてきた方がよいのではないか。どのやり方が一番効率的か、安価か。修学資金を貸与する方がよいのか。求人業者を依頼し、成功報酬を払う方がよいのか。
- 特定看護師が、病院のどの分野について必要なのか。地域としての方針が必要。
- 特定看護師の研修に実際行くのは1年以内ということだが、その間人材不足になり現実として研修に派遣するのは難しい。
- 医師のためではなく、地域の人のためになるのが、特定看護師だと思う。それが第一目的でなければ研修に行こうとする看護師はいないのではないか。
- 市民病院の医師の中では、特定看護師の具体的な検討はされていない。
- 認定看護師などの資格取得は勤務扱いとして研修に行けるようにしており、看護部で出来ることはしてきている。
- 法人だけでなく個人に対しても特定看護師の資格取得を支援していくことも必要。
- 地域で完結できてない。病院も大事だが、それを支える周りの仕組みも大事。
- 来年度の予算要望では緊急5か年戦略と称して、介護人材確保5か年事業、即ち介護人材のカムバック（現場に戻す）、新規・移住する方、居宅のケアマネの処遇改善、ケアマネ直前講座の試験に合格した場合のお祝い金、などを計上している。市が予算計上をして力を入れることを検討しているという話題がみんなに知られてほしい。

- ふるさと納税の使い道について検討していく必要がある。その一つは介護人材確保ではないか。短期集中的にいき、その流れができるとうい。
- ケアマネがない。今ケアマネを頼んでも、契約までに1か月以上時間がかかる。補助金等でケアマネ達のモチベーションアップにつながれば良いと思っている。また、新規の人やカムバックにつながれば良いと思っている。
- 南魚沼市では青い畳の上で死ぬる確率は東京よりも低い。介護の基盤が弱いと言わざるをえない。
- 南魚沼市では持ち家率が高く、特養への需要が大きいと思われる。福祉（新特養建設など）は、経済波及効果も大きい。安定した雇用を生む材料となるのではないか。

今後の課題・対応

- 現場で困っていることをどうしたら改善できるのか、考え、実行していくことが市の役目である。具体的な次のアクション・行動について、考えてきてほしい。（次は、何をどうしたら良いのか。）